



**山形県木材産業協同組合**

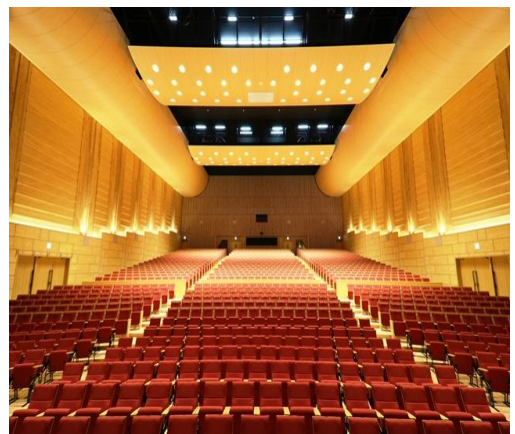
〒990-2473 山形市松栄 1-5-41  
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699  
 URL:http://www.mokusankyo.com  
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

- 目 1 長官賞を受賞!! (南陽市文化会館)      4 合法木材実績報告について
- 2 第 25 回林業まつり実行委が開催      5 お知らせ・会議・イベント等
- 次 3 盛況だった 2015 耐震住宅博覧会      6 6 月期住宅着工状況



**1 南陽市文化会館が林野庁長官賞を受賞!!**

平成 27 年度木材利用優良施設コンクールにおいて、南陽市文化会館が林野庁長官賞を受賞した。このコンクールは、木材利用推進中央協議会（吉条良明会長・全木連会長）が毎年実施しているもので、木造施設、内装材利用、街づくり施設等について、全国レベルのコンクールを行い優秀施設を表彰しているもので、本県では初めて林野庁長官賞に輝いた。



(南陽市文化会館 1,400 席の木造大空間)

南陽市では、「森林整備加速化・林業再生事業」の先駆的モデルとして事業採択を受け、全国初となる木造耐火による文化ホールとして建設したもので、森林資源を地域産業に結びつけ、木材利用の新たな可能性を広げる契機となり、川上から川下までの関係者が一体となった持続可能な循環型社会の形成を目指して取り組んだものである。



特徴は、高層の木造耐火構造を実現するため、現時点で国内最先端の耐火木造技術である、大臣認定工法「クールウッド」を採用し、木造と RC 造の平面構造で延床面積 5,900m<sup>2</sup> を有する大規模施設。

表彰式は、7 月 31 日に東京都にある、木材会館を会場にした「木材利用推進全国会議」の席上で行われ、南陽市からは、みらい戦略課の吉田幸太郎課長補佐等が出席した。



この施設の資料については、9 月発刊の「写真で見る「木」の施設」木造事例集に取りまとめられ、木造公共施設の建設をはじめとした木材利用の推進の参考資料として、広く活用されることになる。

この度の受賞は本県の木造文化の新たな一ページを開いたもので、この施設の完成により、本県の木造施設は、古代宗教・文化施設等から最新のものまで網羅されることになり、オリンピック等に向けて国内外に大いに PR できる材料と考えている。

## 2 第 25 回県林業まつり実行委員会開催される!

7 月 24 日 (金)、県産業創造支援センター会議室 (山形市松栄) において、標記実行委員会が開催され、実行委員等 31 名が出席した。

木産協からは副委員長として阿部昭理事長、委員として相原吉弘山形木材業組合長、上妻嘉光上山木材業組合長、細谷健一県木青会会長、事務局長として木産協専務理事、他職員が参加した。

委員会では、行政機関や関係団体と調整を行い作成した事務局案が満場一致で承認され、本年度も豊富な内容で実施されることになった。内容等については次のとおり。



(昨年度:木材利用ポイントコーナー)

1 日 時 平成 27 年 10 月 17 日 (土) 12:00~16:00  
10 月 18 日 (日) 9:00~15:00

2 会 場 山形県総合運動公園特設駐車場内 天童市山王 1-1

### 3 主 催

山形県林業まつり実行委員会、山形県、天童市、山形県森林協会、山形県森林組合連合会、山形県木材産業協同組合、(公財)山形県みどり推進機構、やまがた県産木材利用センター

### 4 協 賛 (これから協賛依頼を行うところ)

東北森林管理局、(一社)山形県林業コンサルタント、NPO やまがたの木・住環境共生ネットワーク、山形県緑化事業協同組合連合会、(協)山形木造住宅プレカットシステム、山形県 J A S 製材連絡協議会、林材業労働災害防止協会山形県支部、(公財)山形県林業公社、山形県森林整備事業協同組合連合会、山形県木炭文化協議会、山形県森林土木建設業協会、山形県林業機械化協会、山形県きのこ振興会、(財)日本森林林業振興会山形出張所、(独)森林総合研究所森林農地整備センター山形水源林整備事務所、山形県林業グループ連絡協議会、山形県林業士会、山形県木材市場協会、山形県木材青壮年協議会、山形県緑を育てる女性の会、山形県山林種苗協同組合、やまがた公益の森づくり支援センター、山形県地域材利用推進協議会、村山地域林業振興協議会、最上地域林業振興協議会、置賜林業推進協議会、庄内地方林業振興協議会 (順不同) (27 団体)

### 5 主な内容

- (1) 地域材利用の家づくり：地域材を活用した住宅構造躯体の展示と相談を実施
- (2) 木質バイオマスエネルギー関連展示：木質バイオマス発電等について周知。
- (3) 企業等の森づくり活動と PR：企業と森づくりとの関連を広く県民に周知。
- (4) 震災復興関連展示：県産木材と被災地周辺の建築業界とのコラボ等の取り組み紹介。
- (5) 県内の新しい技術や製品等：地域材活用木製品、耐火集成材等
- (6) 他のイベント等との連携：林材業年次大会、食彩まつり、モンテディオ山形試合
- (7) 木に親しむ、体験するイベント：体験木工・地域特産品・クイズ&ゲーム
- (8) 木製品や地域特産品の展示・販売：地域特産品、林業機械実演、大型木製昆虫等
- (9) アトラクション等：丸太カット開会式、酒田きやり、山木屋太鼓、けん玉レジェンド

### 6 お 願 い

- (1) 出展参加、協賛広告については、8 月 31 日まで申込み下さい。
- (2) 申込先：山形県林業まつり実行委員会事務局 (木産協内)

※ 案内等を同封しますので、宜しくご協力下さいます様お願いいたします。

**県内最大級イベント「林業まつり」を、木材業界の力で成功させよう!!**



### 3 2015 耐震住宅博覧会について！！

7月11日(土)～12日(日)にかけ、仙台市「夢メッセ」を会場に、標記博覧会が開催された。木産協は県産の木材の「売り込み」を推進するために、参加希望の組合員等を取りまめ、4年連続で出展した。

本県ブースは、多様な木製品等の展示のほか、技術力を誇示する製品や、子供を対象とする木工工作等もあり、最も集客のあったブースの一つと考えている。参加いただいた組合員の皆様、誠にお疲れ様でした。

本県の参加団体や企画は次のとおりです。

#### 1 県産木材を使った構造躯体の展示

大径のムク材による和風工法や集成材と金具を使った洋風工法による、2種類の構造躯体の展示を行うことで、住宅建築工法の豊富さや高い技術力、県産木材の対応可能能力等をPRした。(沼澤工務店、シェルター:両社共に木産協賛助会員)

#### 2 「広葉樹」を活用した床材、壁材等の展示

本県の豊富な広葉樹資源を活用した製品も展示することで、広葉樹資源が醸し出す本県のイメージアップを図ることができた。(アイタ工業)

#### 3 子供たちの真剣さを引き出す取り組み

子供達を対象とした、木工工作(一升マス作り)や積み木遊び、チェンソーアートの木製巨大昆虫等も大変人気があった。(柿崎製材所、チェンソーアーティスト栗田広行氏)

#### 4 高次加工技術力の展示

技術力で注目を集めたものでは、「杉集成材の曲線加工手すり」や「耐火集成材」等があり、階段の実物模型に手すりをセットしたしたものや、南陽市文化会館建設で使用した「耐火集成材」の模型やパネル等が一目を引いていた。(天童木工・東北クネット、シェルター)

#### 5 その他

関連商品として、ペレットストーブやビル緑化用コケ等にも参加いただき、一面茶色の展示が多い中、コケの瑞々しい(緑色)や、炎を模したディスプレイの赤い火の色が、本県ブースを引き立てる役割を演じている。

(山本製作所、モス山形)

なお、木産協もパンフや木製団扇をプレゼントして県産木材や建築技術のPRを図った。

入場者や関係者に高い評価を頂いており、この流れを県内のイオングループでの常設展示や、秋の「林業まつり」「環境展」に繋げていきたい。

**※なお、昨年は、各県木材展示ブースの中でディスプレイ大賞を受賞したが、本年度は銀賞であった。**



## 4 合法木材の実績報告について

「合法性・持続可能性の証明」及び「間伐材の確認」、「発電利用に供する木質バイオマスの証明」に係る事業者等認定実施要領の第九の規程「取扱い実績報告及び公表」に基づき、昨年度1年間の実績報告の提出を依頼したところ、7月末で全ての認定事業者(125社)からご提出を頂いております。有り難うございました。

なお、この制度は、国内外の環境保全等を図るために、合法的に伐採された木材を利用していくことを目指したもので、業界の自主性に基づき実施しているものです。

規程の遵守の意識が無いと制度が崩れます。また、環境素材としての木材のグレードを高める役割も果たしており、使い方次第でビジネスにも結び付けることも可能です。現在は木材利用ポイント事業が終了し、直接的には「木質バイオマス発電」等への証明のみとなっていますが、私どもの取り扱う木材が、様々な社会的な制約をクリアして、消費者の皆様へ届けられていることを業界としてしっかり示していく必要があると考えています。今回の報告の提出も、例年になく全ての認定事業者から提出していただいております。この流れを確固たるものにしていきたいと思っております。

素材生産の方は伐採にあたり許可をいただき出荷の際はそれに基づく合法証明(納品書証明でも可)を付けること。製材業の方は素材や製品購入の際に合法証明を付けていただくことや工務店等に対し合法証明(納品書証明でも可)を付けて出荷していただくこと。市場関係の方は品揃えにあたり納入業者に対して合法証明を付けたものを要求すること。これらのことを日常的に行うことで、木材のグレードは高まってきます。相手が要求するかどうかは別にして、扱っている木材が合法(認証)木材であることを示すことで、新しい価値を付けていくことが肝要です。

### 平成26年度合法性・持続可能性の証明された木材・木材製品の取扱実績報告概要

期間(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

業 種	木材・木材製品の取扱量(総数)		うち合法性等が証明されたもの		認定事業者数		
	入荷量 m3	出荷量 m3	入荷量 m3	出荷量 m3	主	副	
素材生産業	96,036	81,501	80,800	50,638	19	(2)	
素材流通業	21,770	21,103	12,045	12,400	2	(6)	
木材加工業	チップ	58,755	142,729	34,188	100,789	8	(4)
	製材	135,280	81,403	126,143	66,380	53	(11)
	合板	1,058	1,062	0	0		
	集成材	3,342	3,517	3,342	3,417		
	その他	4,308	4,721	3,677	3,083		
木材流通業	製材	89,351	84,256	51,309	28,264	33	(36)
	合板・木質ボード類	4,759	4,702	1,536	1,474		
	集成材	6,231	5,913	2,970	2,442		
	その他(製紙用チップ材)	21,849	24,958	140	140		
	その他(プレカット部材)	14,669	12,821	2,581	2,280	3	
その他(燃料用木質バイオマス)	57,693	26,871	51,512	19,624	2		
計	515,101	495,557	370,243	290,931	120	(59)	

平成27年8月1日現在

木産協組合員数	154	うち認定事業者数	125
---------	-----	----------	-----

※ 昨年度の住宅着工の減等から製材用が減少し、木質バイオマス等が増加している。

## 5 お知らせ、会議・イベント等

### 1 合法木材研修会について

この度、認定実施要領に基づく講習会を下記により実施しますので、認定期間が経過したことから再講習が必要な事業体及び新規認定を受ける事業体は、担当者をご出席下さいます様ご案内致します。

- (1) 日時 9月17日(木) 13時30分～16時頃
- (2) 会場 山形市内 ホテルキャッスル会議室
- (3) 研修内容  
ア 合法木材の実務 イ 合法木材を巡る状況(講演会・筑波大学教授 立花敏氏)
- (4) 受講料 3,000円/一人(当日受付で集めます。)

### 2 山形県北部林業労働安全大会

8月6日(木) 13～16時、真室川町において標記大会が開催される。林業労働災害が多発しており、これらの発生を抑制する意識の高揚を図るため、木産協の素材生産関係組合員のうち県北部を活動エリアとしている組合員が中心となり実施するもので、木産協単独では初めての取組であり、約100名の参加を予定している。

大会では、戸沢神社神主によるお祓いのほか、森林管理署や労働基準監督署の職員による講話が行われ、年度後半の労働安全を誓うことにしている。

### 3 イオンモール(三川、山形南)での木製品展示会及び「テツ&トモ」イベント!!

木製品を身近に感じていただくために、県内の優れた木製品を常設展示すると共に、人気コメディアンが勧める木のある暮らしフェスティバルを、県内2カ所で開催する。

- (1) 8月17日(月)～22日(土) 三川町イオンモール催事場
- (2) 8月31日(月)～9月6日(日) 山形南イオンモール催事場

※ 「テツ&トモ」が勧める木のある暮らしイベントは、22日、9月6日共に13時頃～。

※ 巨大木製昆虫模型や長井市のけん玉グループのパフォーマンスもあります。

### 3 平成 27 年度 木産協青年部 自主研修会の開催

8月28日(金) 13時半より、天童市を中心としたエリアにおいて、標記研修会が行なわれる。青年部員同士の関係情報の交換の他、スギ材商品の開発・販売に積極的に進出した天童木工の視察や「森林ノミクス」の取組の現状や課題等について認識を深める。

本年度幹事は佐藤吉紀氏(カネキチ材木店)、松田卓也氏(スペースパーツ山形)。関心のある方は木産協名簿を参照の上、幹事に連絡願います。

### 4 「まちと森林をつなぐ木づかい全国キャラバン」の開催

8月29日(土) 13時半～、山形市ビッグウィングにおいて、林野庁が主催する、標記キャラバンが開催される。この取組は、国民全体に向けて「木づかい」の現状とその価値や意義について学び考えていただくと共に、木の魅力と可能性を体験してもらう地域発のイベントである。東北では本県だけの開催となり、林野庁次長のほか東北各県等からパネラー等が出席予定となっている。東北唯一本県での開催でもあり、本県業界の積極性をアピールできる機会でもあることから、多数の組合員のご参加や関係者への周知について御協力下さいます様お願いいたします。なお、詳細は別途御連絡します。

## 6 6月期の住宅着工状況

6月期は576戸で対前年比109%、うち持家は358戸で123%、貸家は123戸で65%、分譲は94戸で196%、木造率77.8%、累計比(1~6月)112%と、昨年度の反動もあり堅調に推移しているが、分譲住宅の増等から、木造率が前月比10ポイント低下している。木産協は県内各地のモデル的木造住宅パンフレットを作成中で、これらも活用し、要望に対し様々なバリエーションで対応できることを県内外の顧客等に周知して欲しい。

### 1 県内新設住宅着工戸数(平成27年6月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
26.1~5	1671	988	471	74	138	1578	93	1389		1100	50	239
6月	529	291	190	0	48	515	14	415	78.4%	290	13	112
7月	364	204	124	1	35	316	48	300	82.4%	212	13	75
8月	361	223	90	3	45	357	4	305	84.5%	245	7	53
9月	377	203	127	0	47	358	19	332	88.1%	223	5	104
10月	395	199	144	3	53	384	11	353	89.4%	227	7	119
11月	465	238	179	2	46	445	20	377	81.1%	261	7	109
12月	388	183	180	0	25	382	6	326	84.0%	194	4	128
27.1月	249	125	74	0	50	248	1	203	81.5%	141	8	54
2月	367	194	124	0	49	364	3	297	80.9%	166	13	118
3月	366	278	62	1	25	363	3	343	93.7%	262	14	67
4月	452	302	105	1	44	446	6	425	94.0%	288	11	126
5月	471	313	102	0	56	465	6	417	88.5%	330	11	76
6月	576	358	123	1	94	574	2	448	77.8%	322	15	111
対前月比	122.3%	114.4%	120.6%	-	167.9%	123.4%	33.3%	107.4%	-	97.6%	136.4%	146.1%
対前年同月比	108.9%	123.0%	64.7%	-	195.8%	111.5%	14.3%	108.0%	-	111.0%	115.4%	99.1%
26.1~当月計	2,200	1,279	661	74	186	2,093	107	1,804	82.0%	1,390	63	351
27.1~当月計	2,481	1,570	590	3	318	2,460	21	2,133	86.0%	1,509	72	552
対累計前年比	112.8%	122.8%	89.3%	4.1%	171.0%	117.5%	19.6%	118.2%	-	108.6%	114.3%	157.3%

### 2 地域別新設住宅着工戸数(平成27年6月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
<b>県計</b>	<b>576</b>	<b>2,481</b>	<b>108.9%</b>	<b>112.8%</b>	<b>2,133</b>
山形市	165	709	123.1%	116.8%	568
上山市	8	47	266.7%	174.1%	45
天童市	35	187	152.2%	106.3%	164
山辺町	9	37	42.9%	123.3%	35
中山町	2	25	66.7%	277.8%	25
<b>東南村山</b>	<b>219</b>	<b>1,005</b>	<b>119.0%</b>	<b>118.4%</b>	<b>837</b>
寒河江市	10	123	55.6%	201.6%	94
河北町	12	44	171.4%	176.0%	39
西川町	0	1	0.0%	7.1%	1
朝日町	1	4	100.0%	19.0%	4
大江町	6	13	600.0%	118.2%	13
西村山郡	<b>29</b>	<b>185</b>	<b>100.0%</b>	<b>140.2%</b>	<b>151</b>
村山市	8	53	200.0%	230.4%	52
東根市	42	196	210.0%	147.4%	185
尾花沢市	4	14	200.0%	127.3%	12
大石田町	26	31	2600.0%	775.0%	6
<b>北村山</b>	<b>80</b>	<b>294</b>	<b>296.3%</b>	<b>171.9%</b>	<b>255</b>
村山地域	<b>328</b>	<b>1,484</b>	<b>136.7%</b>	<b>128.8%</b>	<b>1,243</b>
新庄市	22	54	146.7%	114.9%	52
金山町	2	4	100.0%	133.3%	4
最上町	0	1	0.0%	50.0%	1
舟形町	0	4	0.0%	44.4%	4
真室川町	0	6	-	100.0%	6

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	1	4	100.0%	66.7%	4
鮭川村	0	2	-	-	2
戸沢村	1	3	100.0%	300.0%	3
<b>最上地域</b>	<b>26</b>	<b>78</b>	<b>123.8%</b>	<b>105.4%</b>	<b>76</b>
米沢市	98	283	181.5%	137.4%	220
南陽市	15	65	214.3%	112.1%	63
高畠町	7	29	77.8%	80.6%	28
川西町	1	14	7.1%	42.4%	14
<b>東南置賜</b>	<b>121</b>	<b>391</b>	<b>144.0%</b>	<b>117.4%</b>	<b>325</b>
長井市	14	69	41.2%	73.4%	60
小国町	0	3	-	37.5%	3
白鷹町	6	18	200.0%	138.5%	17
飯豊町	1	4	50.0%	30.8%	4
<b>西置賜</b>	<b>21</b>	<b>94</b>	<b>53.8%</b>	<b>73.4%</b>	<b>84</b>
<b>置賜地域</b>	<b>142</b>	<b>485</b>	<b>115.4%</b>	<b>105.2%</b>	<b>409</b>
鶴岡市	27	207	31.0%	80.9%	201
三川町	3	10	300.0%	100.0%	10
庄内町	2	24	13.3%	50.0%	24
田川	<b>32</b>	<b>241</b>	<b>31.1%</b>	<b>76.8%</b>	<b>235</b>
酒田市	46	178	139.4%	117.1%	156
遊佐町	2	15	22.2%	31.9%	14
飽海	<b>48</b>	<b>193</b>	<b>114.3%</b>	<b>97.0%</b>	<b>170</b>
<b>庄内地域</b>	<b>80</b>	<b>434</b>	<b>55.2%</b>	<b>84.6%</b>	<b>405</b>

注:累計は平成27年1月~